

平成22年度

「薬と健康のつどい」アンケート結果

NPO法人ふあるま・ねっと・みやぎ 平成22年度調査研究報告

真のセルフメディケーション支援薬剤師
の養成と新しい薬局モデル構築のため
の研究

アンケートの目的

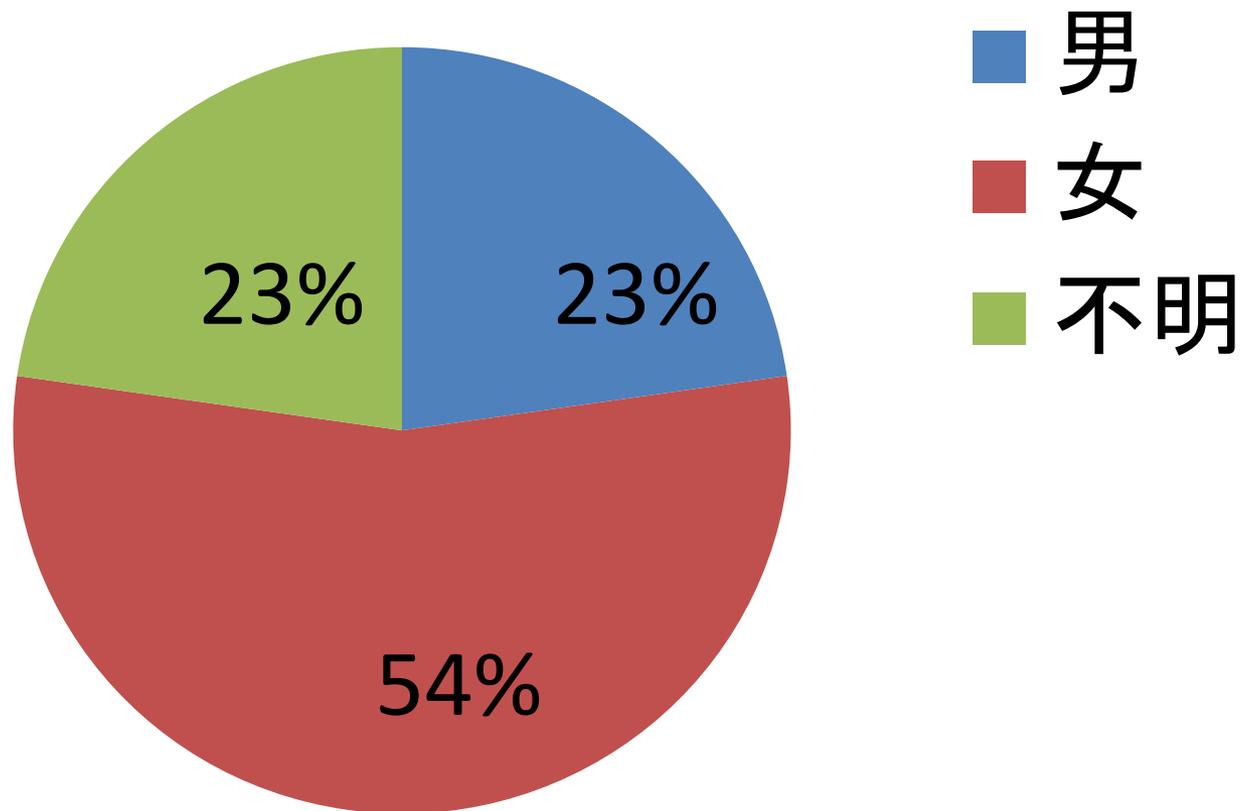
- ①国民のセルフメディケーション支援のために、新しい視点を持った薬剤師の養成のため。
- ②薬剤師・薬局開設者および一般生活者の意識や問題点を明らかにし、真のセルフメディケーション支援の場としての新しい薬局の姿を提案するため

調査の方法

- ・対象(社)宮城県薬剤師会・宮城県主催
平成22年度「薬と健康のつどい」に参加された一般生活者110人
- ・方法：会場内でアンケート用紙に記入

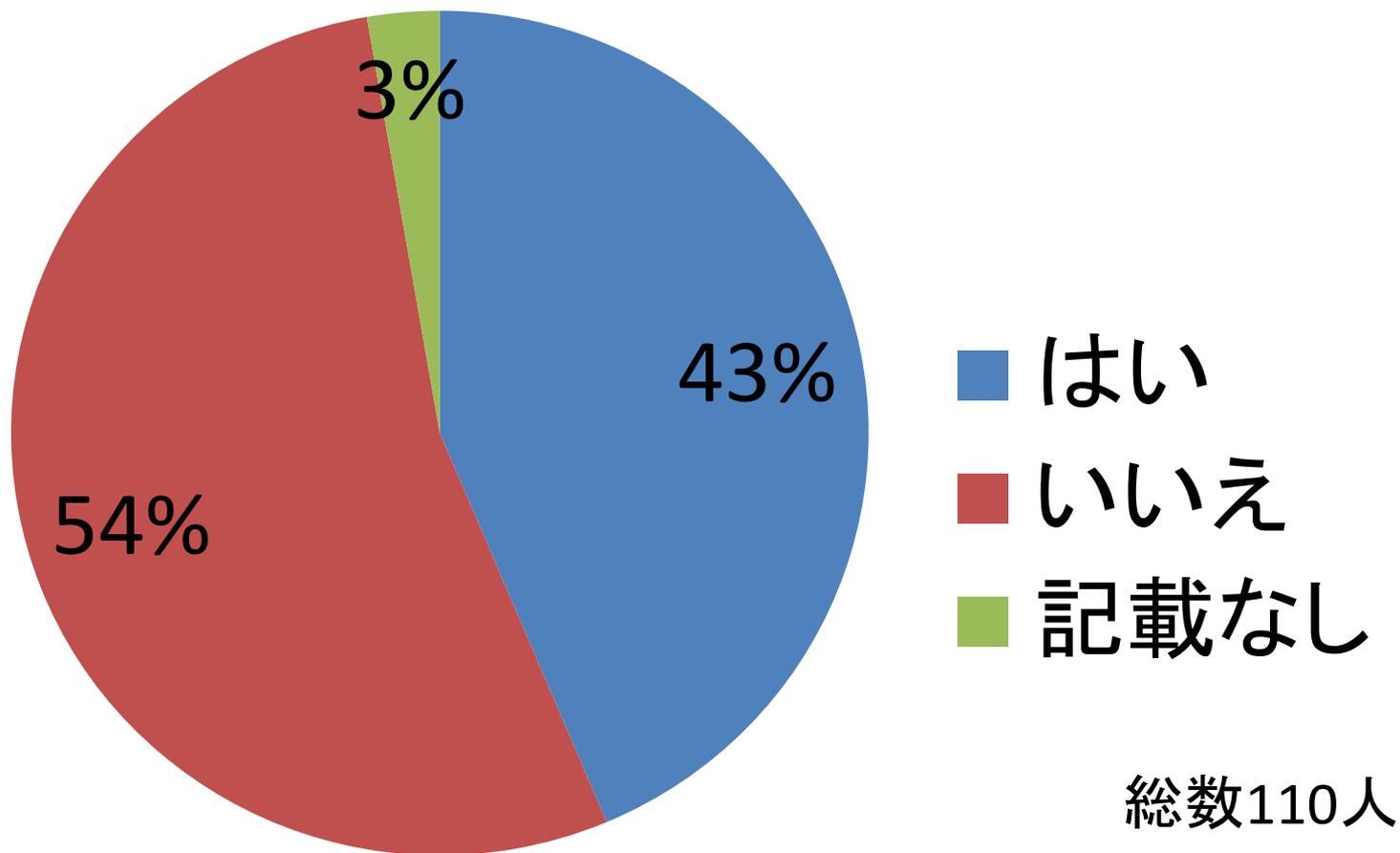
アンケートに協力いただいた方は

性別



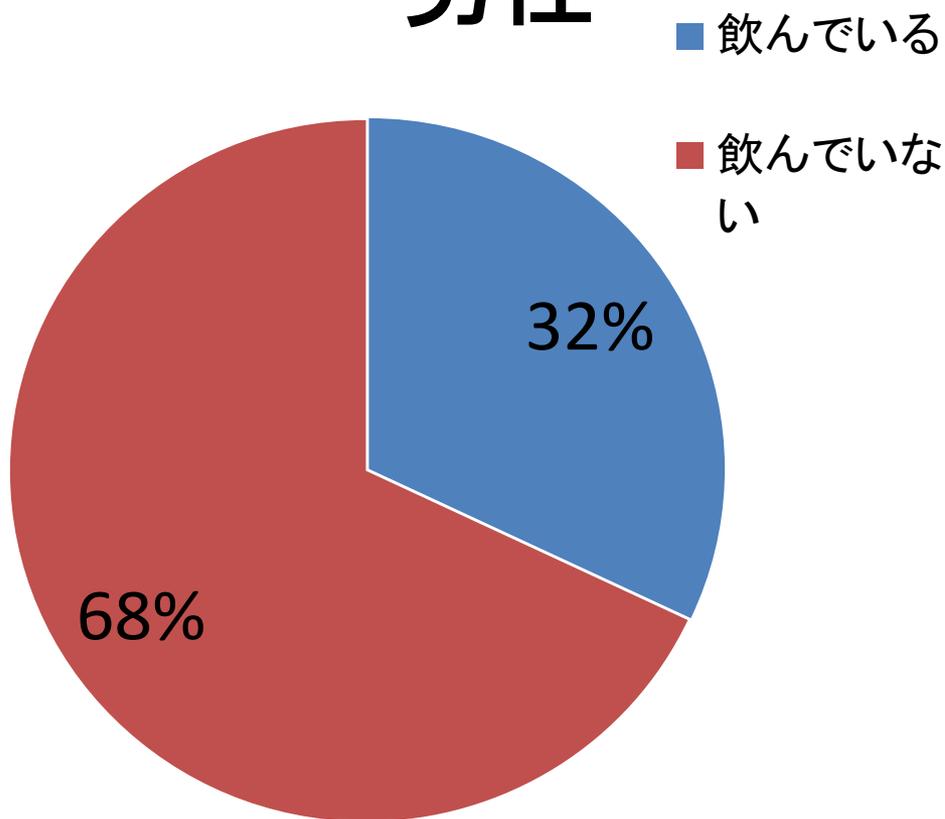
総数110人

病院の薬を飲んでいきますか？

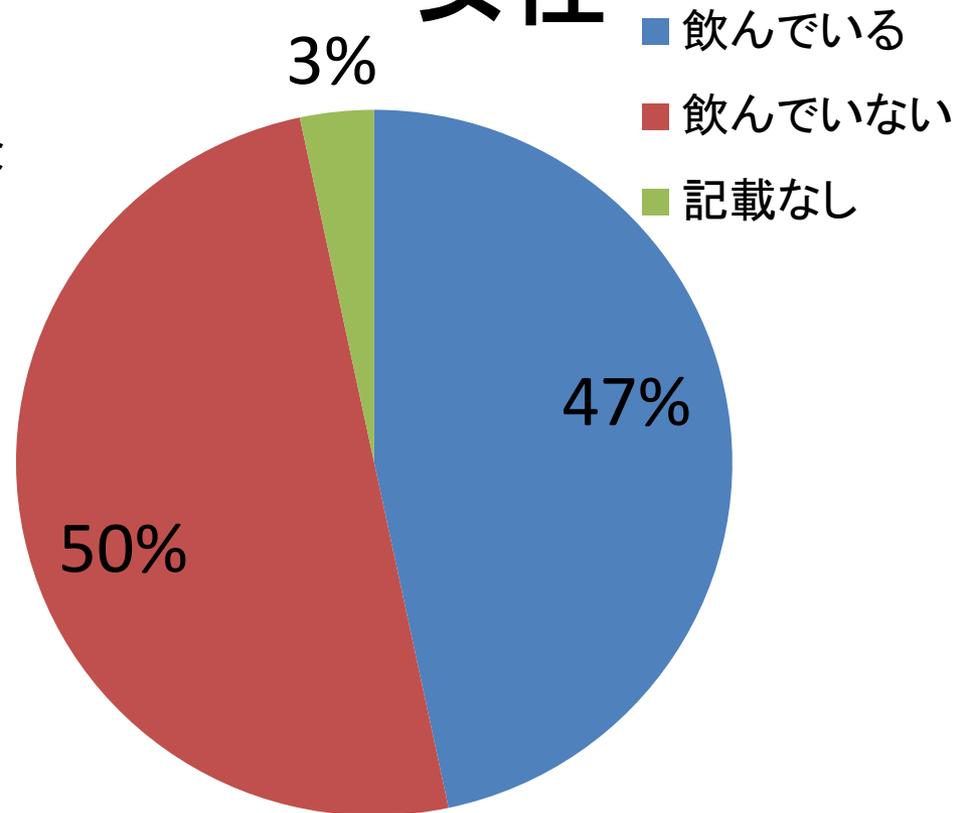


病院の薬を飲んでいる人、男女では？

男性

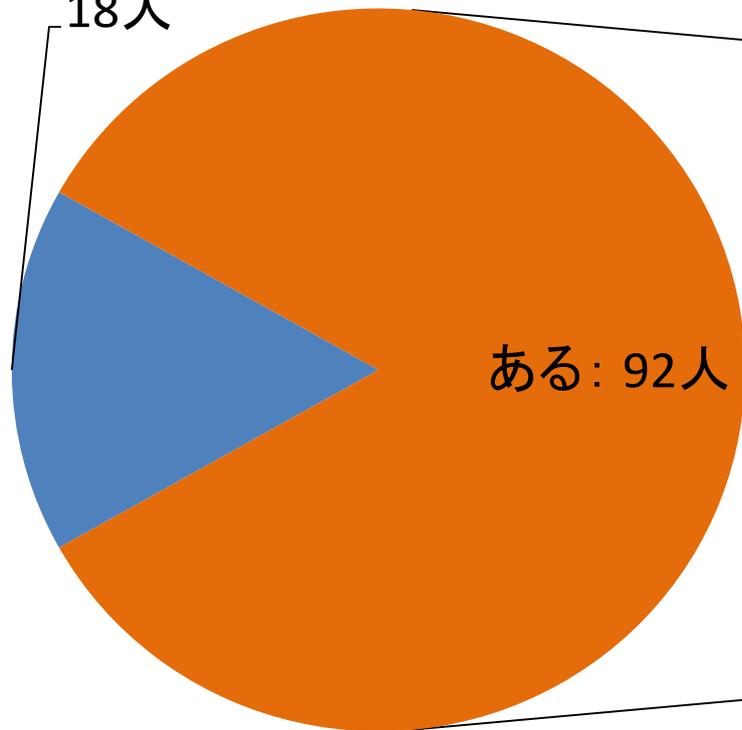


女性



市販薬を購入したことはありますか？

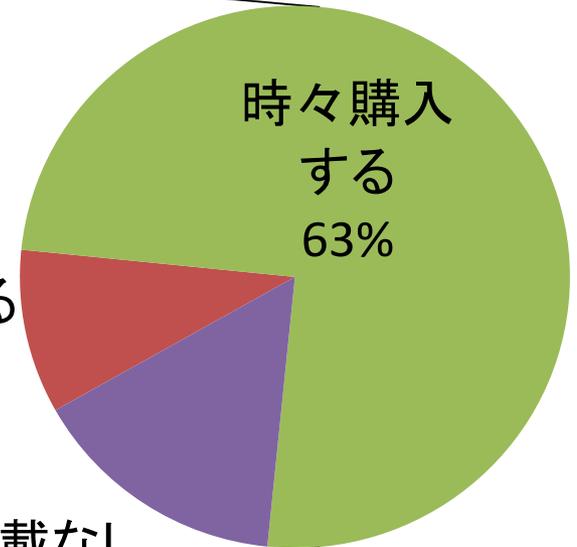
購入したことは
ない
18人



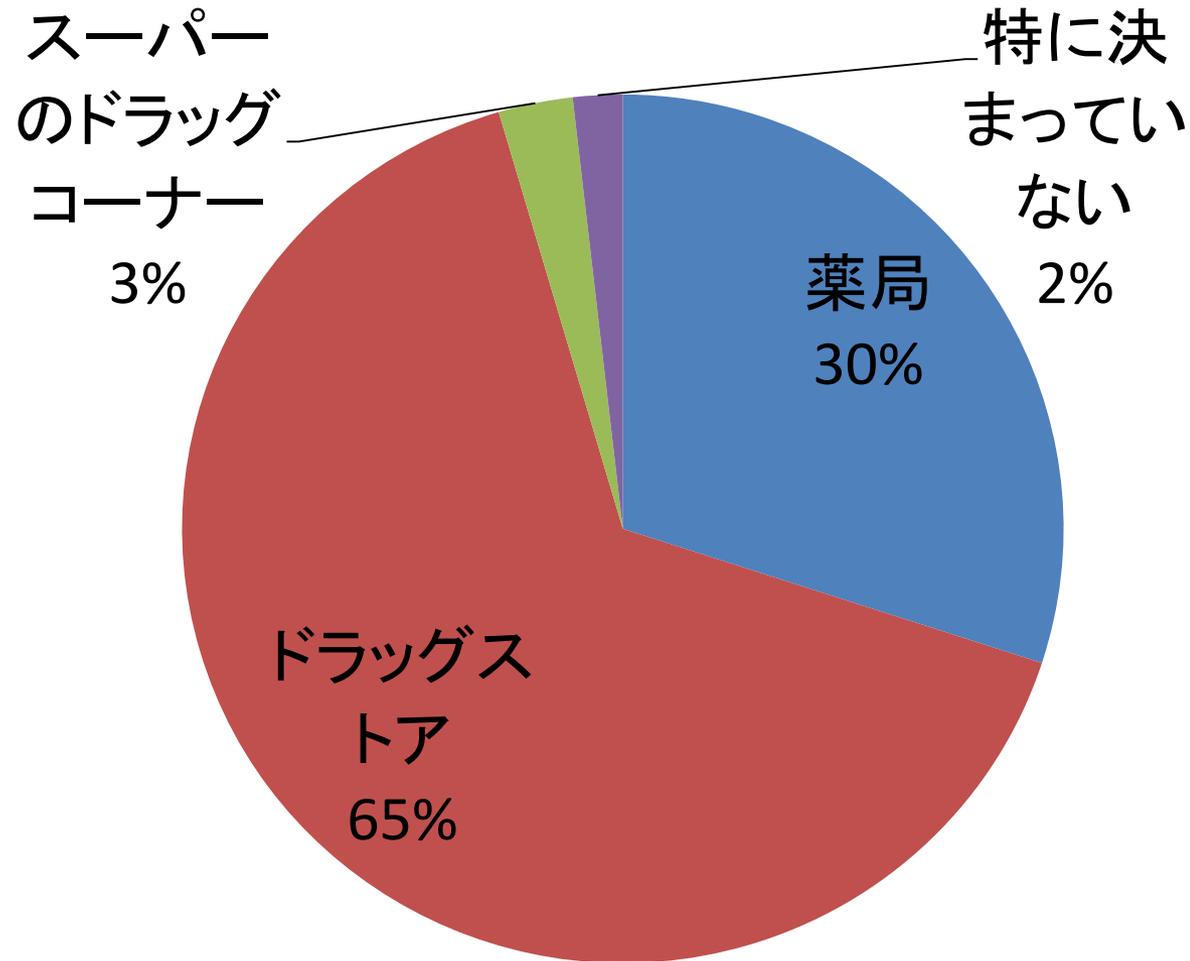
よく購入する
8%

記載なし
13%

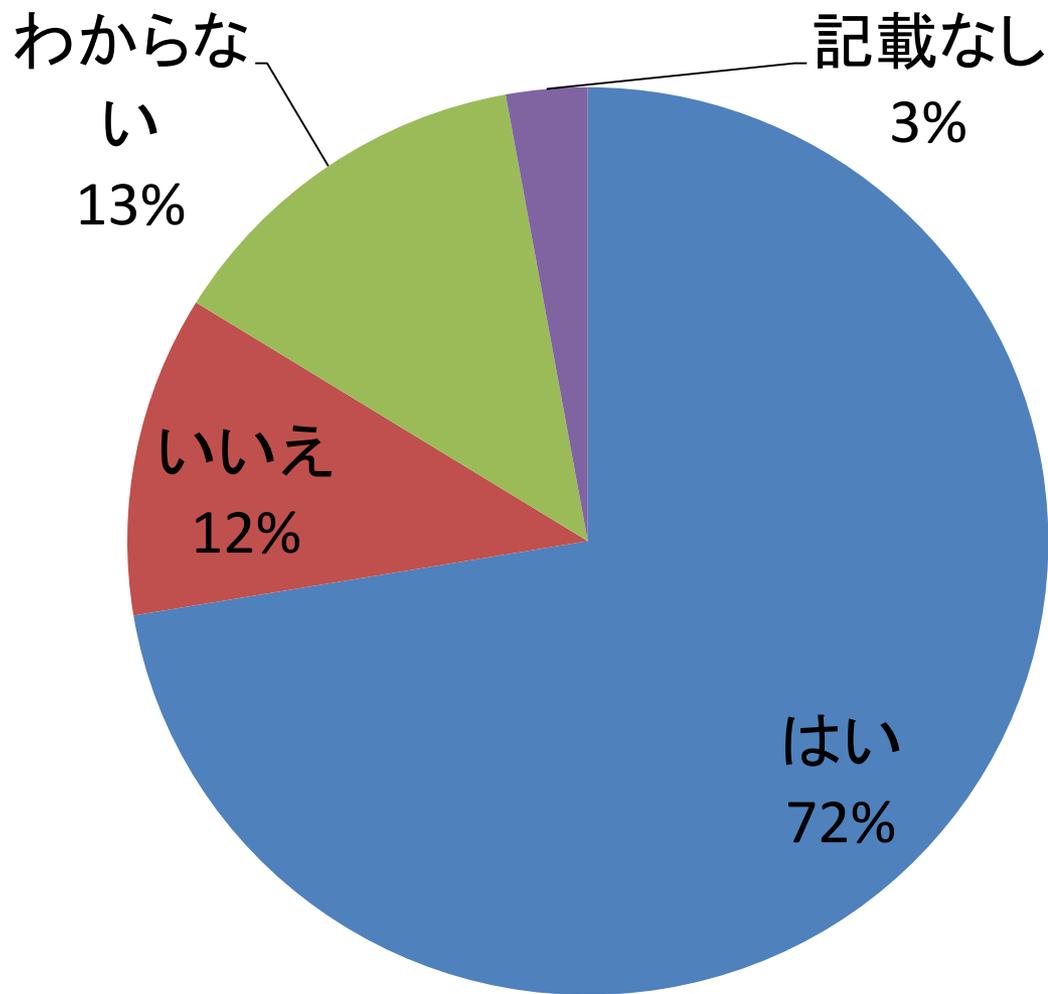
時々購入
する
63%



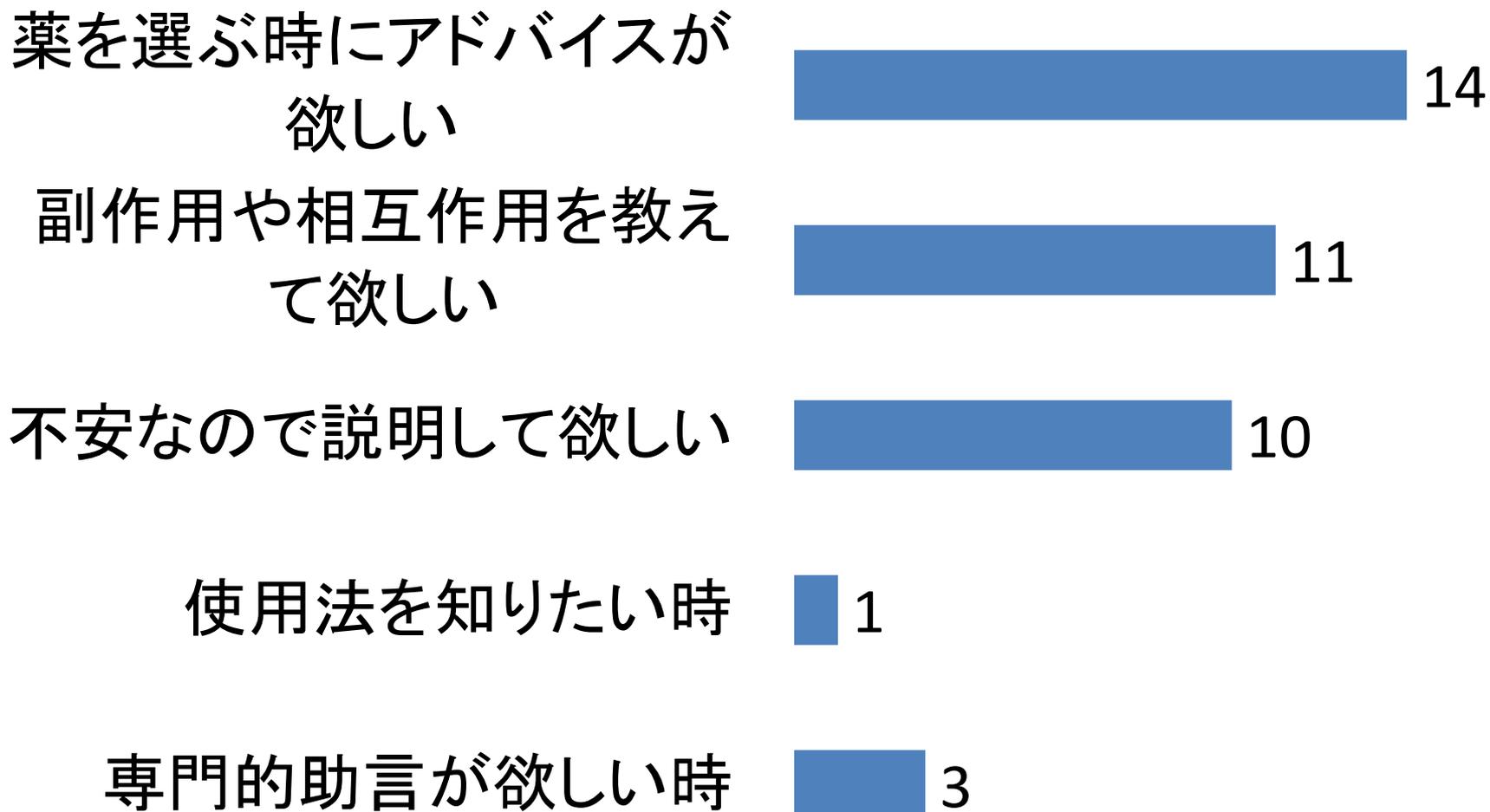
市販薬はどこで買いますか？



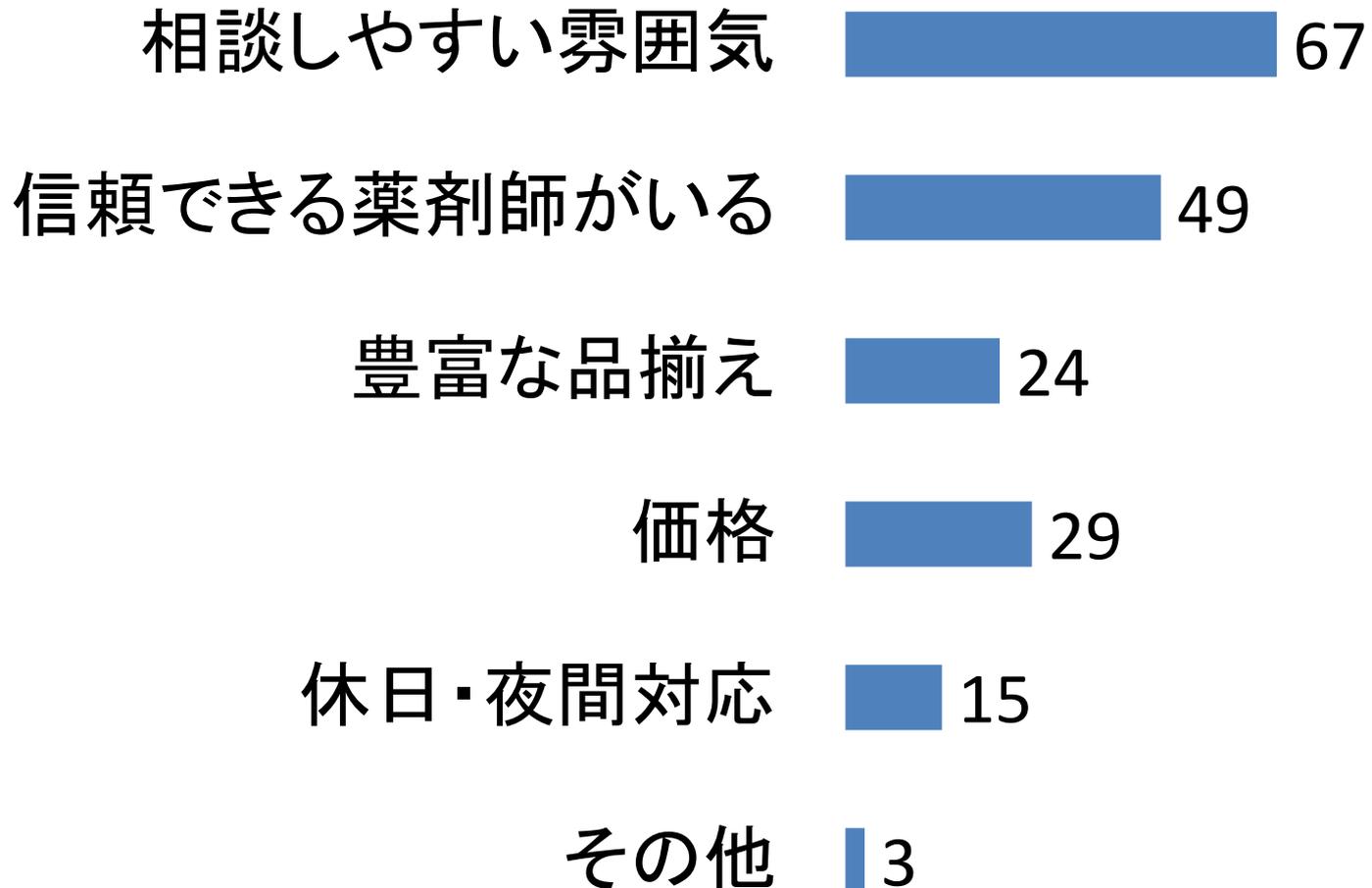
薬を買うとき、薬剤師から説明や助言は必要と思いますか？



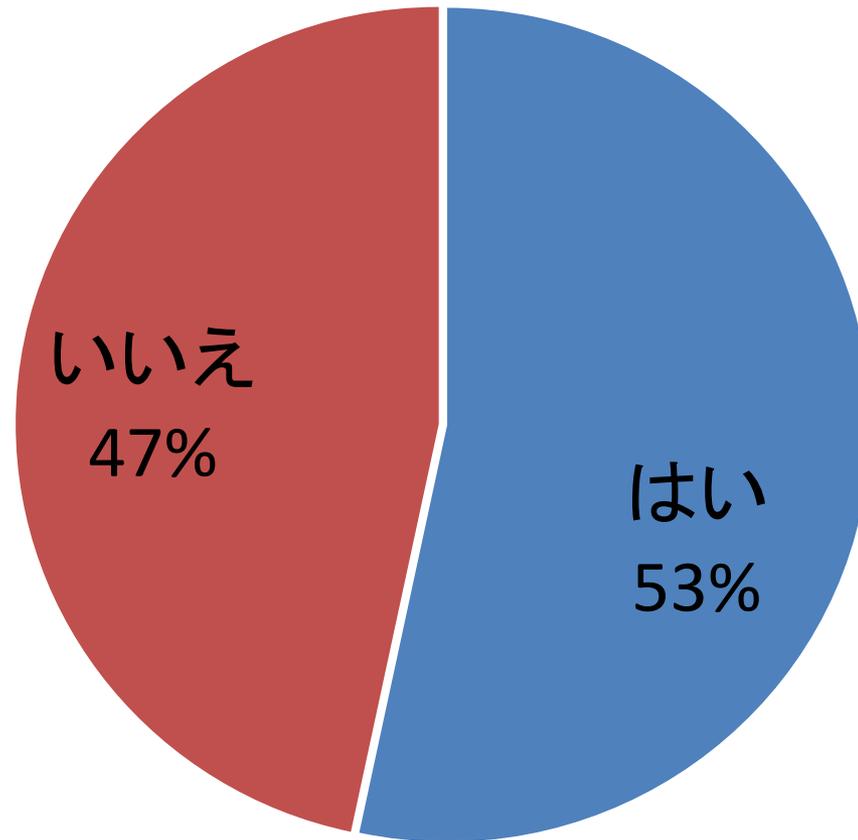
薬剤師に期待することは？ (人)



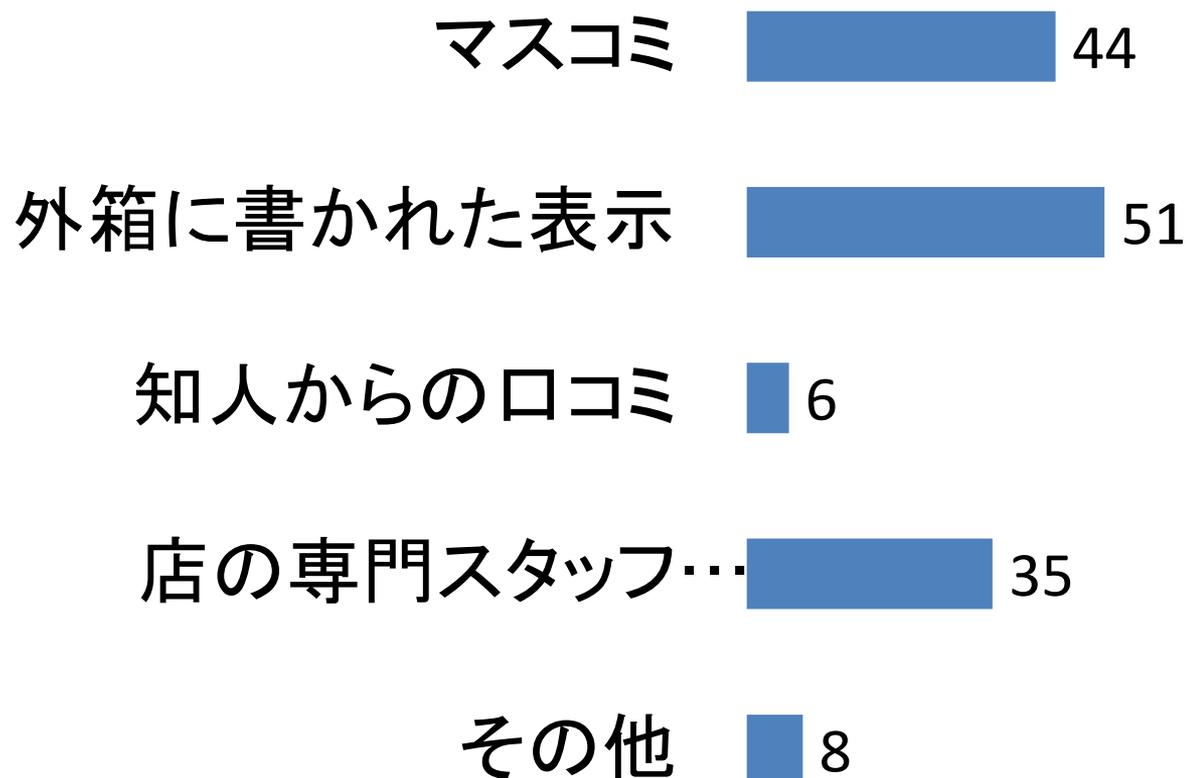
薬局に期待することは？ (人)



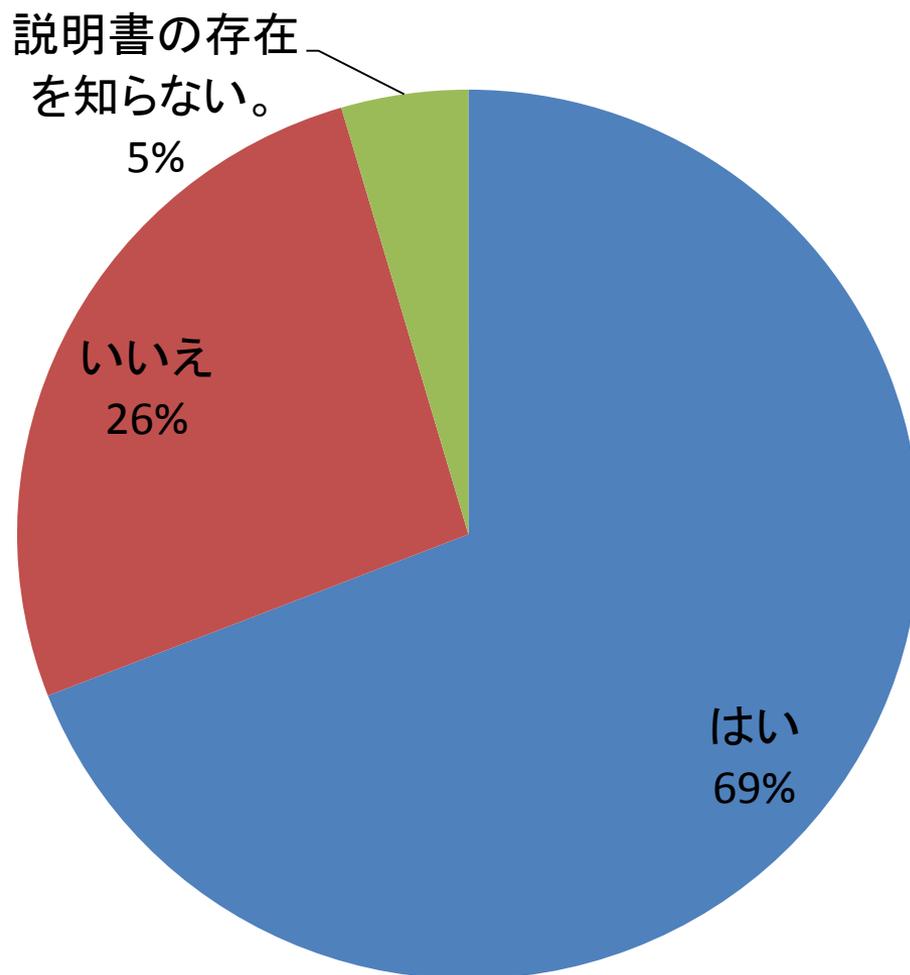
かかりつけ薬局はありますか？



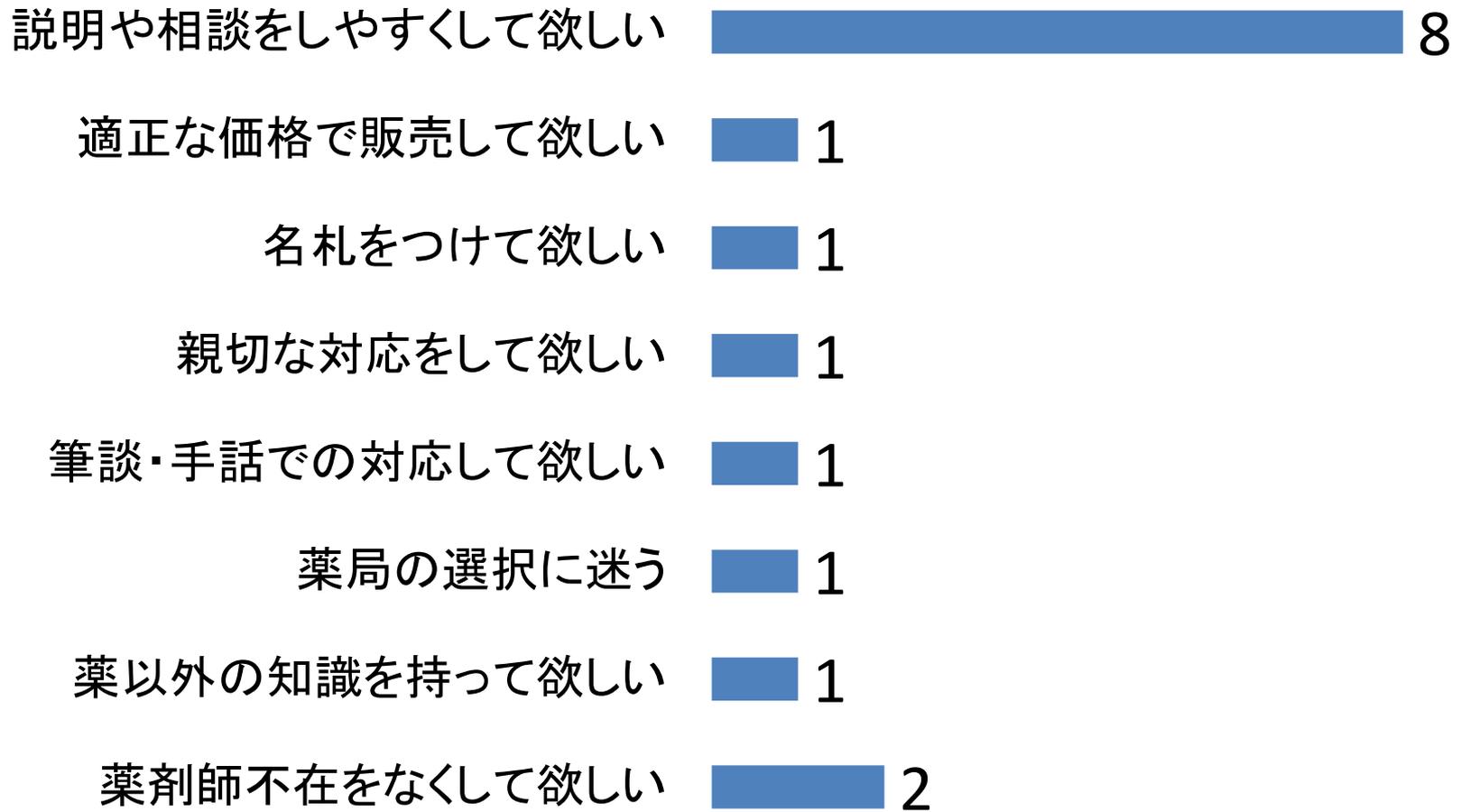
情報はどこから？ (人)



薬の説明書は読んでますか？



薬局や薬剤師への意見 (人)



調査のまとめ(1)

- 回答者の年代: 50代がやや多いが、20代から70代までほぼ均等
- 医師の薬の服用: 43%の人が何らかの処方薬を服用
- 市販薬の利用: よく購入する、時々購入するを合わせて84%
- 市販薬の購入先: 約70%がドラッグストア、30%が薬局(薬店も含む)
かかりつけ薬局で購入と答えた人は8名

調査のまとめ(2)

市販薬などを使用して上手に健康管理をする(セルフメディケーション)ために

- 薬局に期待すること: 相談しやすい雰囲気67人、信頼できる薬剤師がいる49人、豊富な品揃え24人、価格29人、休日・夜間対応15人、
- 市販薬を購入した際に薬剤師の説明や助言が欲しいと思ったことは?: あると答えた人は72%、必要ないと答えた人は12%
- 薬剤師に期待すること: 薬の効果や副作用のべ73人、食品や健康法などの適切なアドバイス33人、市販薬選択アドバイス39人、人柄(親切である)14人、簡単な健康チェック12人
- 添付文書: 読んでいると答えた人は69%

薬剤師は、皆さんの要望に応えたい

- 薬剤師は、セルフメディケーション(上手な健康管理)を応援したいと思っています
- 市販薬は安全なお薬ですが、添付文書には、重要な注意や薬剤師等に相談すべきことが書いてあります
- 医師の処方薬を飲んでいる方は、必ず薬剤師に相談ください
- 市販薬の購入時には、薬剤師を探そう！

こんな薬局、あったらいいかな？ (アンケート結果に応じて)

- ◆信頼できる薬剤師がいる：薬の効果や副作用、食品や健康法、OTC薬選択など専門的なアドバイスをしてくれる薬局
- ◆相談しやすい雰囲気：何気なく寄りたいような、ゆったりした、良い情報が得られそうな薬局
- ◆豊富な品揃えがあり、価格も納得できる薬局
- ◆休日・夜間も対応してくれる薬局

(公財)一般用医薬品セルフメディケーション振興財団

平成22年度調査研究助成事業の助成事業により実施しました。